

最新設備で集中管理

南国市環境センターを見学



2月23日に落成式が行われた南国市環境センター

市民生活に絶対不可欠である新しい、し尿処理施設が完成し、稼働していると聞いて早速、見学させていただいた。田園地帯、広域農道に沿った前浜地区に、三年の工期と三十二億円をかけた施設は、オフィスビルを思わせる近代的な明るい建物で、美しい庭園も備えていて、清潔で広々としていた。正門には、「南国市環境センター」との表示があるが、バキュームカーの出入りがなければ、到底、し尿処理施設とは思えない建物である。

処理施設は完全密閉式で、予想した悪臭は皆無である。処理済みの透明で、無臭、無菌の水は、パイプ（全長一・五キロ）で土佐湾に放流され、固形物は分解、焼却されて灰になると担当職員から説明があったが、機械や化学に弱い私には、理解できない事が多



バキュームカーから処理ラインへ投入



プラント内部
まるで薬品工場のような内部施設

かった。要は、バクテリアにの尿本となって、大気中に放出されているとのことで、その完全な処理に、ただ驚くばかりである。
処理棟の内部は明るく、清潔な感じの色彩が施されてい



コンピュータ室
管理はすべてコンピュータ

て、その中に無数のモニターとタンクが林立し、パイプが縦横に張り巡らされていて、薬品工場か精油工場を思わせる。市から委託された産原製作所の職員六人が常駐し、管理運営をしていた。

中央監視室にはモニターテレビが設置され、受け入れから最終行程までの量がインプットされたコンピュータで、常に監視されていたし、本質分析室では、各行程の水質が薬品によってチェックされて

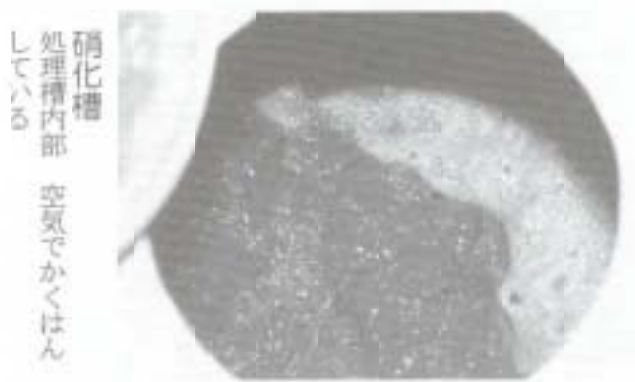
もいた。一日七・二時間の処理能力があるそうで、人口四万五千人を対象にした施設だそうである。（そのほか予定も含め）浦戸湾東部流域下水道 約一万三千人 ▼ 十市浄化センター 約五千五百人 ▼ 農業集排水事業 約三千二百人、合併処理浄化槽などでの

処理がされる。
し尿処理があまりにも最先端の工場施設で行われているのに驚嘆すると共に、建設にあたっての地域の人々のご理解、ご協力や、行政の施策に感謝の念を抱いたし、住み良い南国市、健康文化都市南国への大きなハードルを一つ越えたことに喜びを感じた。改めて、し尿処理に携わる人々に感謝し、見学記とする。



隣地はグラウンドになる予定

南国市環境センター
▼所在地 前浜
▼処理能力 70,000リットル/日（し尿1150リットル/日、浄化槽汚泥117リットル/日）
▼処理方式 高負荷脱窒素処理方式+高度処理
▼敷地面積
一〇、三〇〇平方メートル



硝化槽
処理槽内部 空気がかくはんしている



排水路 この道路敷に排水パイプはるか太平洋へ

